

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを書く力が身に付いている。
- 話や文章の種類とその特徴について理解する力が身に付いている。
- 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることに課題がある。

【算 数】

- 整数や小数、分数についての計算力が身に付いている。
- 体積を求める問題など図形領域の理解がよくできている。
- 複数の情報から必要な情報を読み取ることに課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- PC・タブレットなどのICT機器を活用する力が身に付いている。
- 自分のよいところやできていること等、自分を肯定的に捉えようとする意識が高い。
- 学校の学習について家庭で話し合う機会が十分であると感じている児童の割合が低い。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・全校での授業改善の推進（予習と振り返りを取り入れた授業）
- ・国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導
- ・ゲストティーチャーによる算数科の学習指導の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・相手意識、目的意識を明確にした「書くこと」に関する国語科授業づくり
- ・算数科の重点単元及び補充学習「スイッチオンタイム」における「算数タイム」の課題内容の見直しと充実

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・特別活動及び道徳を除く全教科において、児童が複数の教員と日常的に関わることができる交換授業の実施
- ・課題解決に向けて、児童一人一人が自分に合った学び方を選択できる場の設定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・家庭学習の目的や学習内容、取組についての保護者との共有と、家庭との連携に向けた積極的な情報発信